

平成25年度 徳島県立城東高等学校 学校評価 総括評価表

本年度の重点目標

① 人権教育の充実

ア 人権尊重を柱にすえた教育活動を推進する イ 自他を大切にする心や態度を育成する ウ 家庭への啓発活動を推進する

② 学習指導の充実

ア 学習意欲を引き出す指導体制・指導方法の工夫・改善を図る イ 主体的に学習に取り組む態度の育成を図る
ウ 多様なニーズに応える教育課程の編成を図る

③ 進路指導の充実

ア 生徒一人ひとりの勤労感・職業観の育成を図るとともに、夢や目標を明確にさせる イ 生徒一人ひとりの学力や適性、興味・関心を明確にさせる
ウ 進路実現のために必要な情報を迅速かつ適確に収集し、組織的・計画的な指導を行う

④ 生徒指導の充実

ア 社会の一員としての正しいルール・マナーを習得させ、基本的生活習慣の確立を図る イ 学校の教育活動全体を通じて道徳教育を展開する
ウ 生徒との信頼関係を確立し、家庭との連携を図り、個に応じた生徒指導を展開する

⑤ 特別活動の推進

ア ホームルーム活動・生徒会活動を活性化させ、自主性や実践的な態度を育成する イ 部活動を充実させる
ウ ボランティア活動の機会を取り入れ、豊かな人間性を育てる

⑥ 体育・健康教育の推進

ア 正しい食生活等の健康増進についての指導を行い、心身の調和的発達の促進を図る イ 一人ひとりに応じた特別支援教育の推進を図る
ウ 教育相談活動の一層の充実を図る

⑦ 環境教育・安全教育の推進

ア 環境問題への意識高揚と環境学習の推進を図る イ 校内外の環境美化活動を推進する ウ 防災教育を推進し、災害時の実践力を育成する

⑧ 読書活動の推進

ア 生徒の望ましい読書習慣の形成を図る イ 生徒の自主的な読書活動を推進する

⑨ 国際交流の推進

ア 異文化理解学習を通じて、国際協調の精神の涵養を図る イ 国際社会の中で主体的に生きる能力や資質の育成を図る

⑩ 開かれた学校づくりの推進

ア 教育活動の積極的な公開を推進する イ ホームページ等を利用した積極的な情報発信を推進する
ウ 地域社会、PTA、同窓会との連携を図る

⑪ 教職員の資質向上

ア 校務運営体制の効率化と充実を図る イ 教職員のコンプライアンス意識の高揚を図る ウ 校内外の研修を通じて指導力の向上を図る

2 学習指導の充実

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度に残された課題
	評価指標	授業に関するアンケート（生徒）	評価指標による達成度	評価	総合評価	
① 学習意欲を引き出す指導体制・指導方法の工夫・改善を図る ② 主体的に学習に取り組む態度の育成を図る ③ 多様なニーズに応える教育課程の編成を図る	①-1	授業の工夫改善度 各教科 70%以上 学習に対する動機付け 75%以上 学習に対する意欲度 75%以上			(評定)	
	②-1	予習への取り組み度 50%以上 復習への取り組み度 50%以上				
	③	進路希望にあったコース(教科・科目)の満足度 80%以上				
	①-2	研究授業参加回数 各教員年2回 授業公開 年3回				
	②-2	生徒の家庭学習時間（1日あたり） 0時間の生徒の割合 10%以下 3時間を超える生徒の割合 30%以上 1日あたりの平均学習時間 3時間				
	③	将来ビジョン検討委員会、教育課程検討委員会開催回数 各年3回				
	活動計画		活動計画の実施状況		(所見)	
	①-1	教科研究会を定期的実施し、授業力の向上・指導案の研究をする。 シラバスの改訂を行う。				
	①-2	研究授業、公開授業等で他の教員の授業を参観し授業力の向上を図る。				
	②-1	・第1学年で英数国の学習ガイダンスを4月に特設授業の中で実施する。 ・好ましい学習態度を理解させる。 ・予習・復習、授業の受け方指導。 ・家庭学習時間調査を毎日実施する。				
	②-2	・週末課題、週末テストを実施し、家庭学習の習慣化を徹底する。 ・学年団による学習指導、生活指導の充実を図る。 ・基礎学力養成講座、再テストの実施。				
	③	・学校行事の厳選、定期考査の工夫を行い、授業時数を確保する。 ・将来ビジョン検討委員会、教育課程検討委員会において、教育課程やコース制の在り方等を検討する。				
						学校関係者の意見

3 進路指導の充実

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度への課題と今後の改善方策				
	評価指標	進路指導に関するアンケート	評価指標による達成度	評価	総合評価					
①生徒一人ひとりの勤労観・職業観の育成を図るとともに、夢や目標を明確にさせる	② 城東ゼミ（補習）の有用度	70%以上			(評定)					
	③ 進路情報の学校の提供度	80%以上								
②生徒一人ひとりの学力や適性、興味・関心に応じたきめ細かな指導を充実させる	①-1 大学見学・企業見学の回数	各1回以上								
	①-2 大学等授業体験の実施回数	1回以上								
③進路実現のために必要な情報を迅速かつ適確に収集し、組織的・計画的な指導を行う	①-3 職業ガイダンスの回数	1回以上								
	②-1 城東ゼミ（補習）の開設講座数	90講座以上								
	②-2 志望する学部等への合格率	80%以上								
	②-3 課題研究発表会の回数	1回以上								
	②-4 学力テストの講評の配布回数	11回以上								
	③ 進路説明会回数	年間3回実施 (各学年1回以上)								
	活動計画						活動計画の実施状況			
	①-1 京都大学見学の実施。企業見学の実施。オープンキャンパスへの参加の推奨。									
①-2 第2学年での大学等体験授業の実施。										
①-3 第1学年での職業ガイダンスの実施。										
②-1 補習，模擬試験，休日講座等を実施。 毎週34講座（3年生） 24講座（1年生） 24講座（2年生）										
②-2 進路検討会を第3学年で年4回実施，第1，2学年で3回実施する										
②-3 第2学年で課題研究発表会の実施。										
②-4 学力テストの講評を全学年で延べ11回配布										
③-1 進路説明会の実施。（各学年1回）										
③-2 最難関大学進学希望者説明会の実施。										
③-3 難関大学，医・歯・薬学部進学希望者説明会の実施。										
						学校関係者の意見				

4 生徒指導の充実

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度に残された課題
	評価指標	生徒指導についてのアンケート	評価指標による達成度	評価	総合評価	
①社会の一員としての正しいルール・マナーを習得させ、基本的生活習慣の確立を図る ②学校の教育活動全体を通じて道徳教育を展開する ③生徒との信頼関係を確立し、家庭との連携を図り、個に応じた生徒指導を展開する	①-1	服装・頭髪・挨拶が身についている。 生徒 80%以上 教員 85%以上			(評定)	
	①-2	ルール・マナーを守っている。 生徒 85%以上				
	③-1	組織的な生徒指導ができています。 教員・保護者 85%以上				
	①-3	生活委員による登下校でのあいさつ・駐輪場のマナーアップ運動の実施回数 年間3回				
	①-4	交通マナーアップ運動実施回数	年2回			
	②	道徳教育のHR活動の回数	年2回			
	③-2	クラス分析会の実施	年4回			
	活動計画	活動計画の実施状況		(所見)		
	①-1	各学年での服装・頭髪指導を充実させる。				
	①-2	遅刻の多い生徒に対し、段階的な指導として担任・生徒指導課・学年主任・管理職による個別指導を行う。状況に応じて保護者を呼んで指導を行う。				
	①-3	生活委員によるあいさつ運動・自転車駐輪場のマナーアップ運動を各学期それぞれ1回実施。				
	①-4	交通マナーアップ運動などを通じて、全校生徒に社会のルールを守る事やマナー指導を行う。				
	②	道徳教育に関するHR活動を各学年で実施する。				
	③	様々な問題を抱えた生徒に対して、学年や部活動顧問及び生徒指導課等が連携し、多方面から生徒の家庭状況や心身の把握に努め、個々にあった適切な指導を模索し、効果的な指導に努める。				
						学校関係者の意見

5 特別活動の推進

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度に残された課題
	評価指標	特別活動についてのアンケート	評価指標による達成度	評価	総合評価	
① ホームルーム活動・生徒会活動を活性化させ、自主性や実践的な態度を育成する ② 部活動を充実させる ③ ボランティア活動の機会を取り入れ、豊かな人間性を育てる	①	生徒会活動が活発である。 （生徒・保護者・教員） 70%以上			(評定)	
	②	部活動の入部率 70%以上				
	③-1	募金活動などのボランティア活動に積極的に取り組む。 70%以上				
	③-2	1・2年生全員による清掃ボランティア活動を年1回以上実施。				
	③-3	清掃ボランティア満足度 75%以上				
	活動計画		活動計画の実施状況		(所見)	
	①	委員会活動の充実 ・学校行事への積極的参加 ・豊学校との学校交流の推進				
	②	部活動と学習面との両立を可能な範囲の中で図る。				
	③-1	ボランティア活動への積極的参加について、生徒会執行部やJRCとの協力の中で実践する。 ・地域（施設や諸学校など）に根づいたボランティア活動の実践。 （生徒会・Knowサークル・邦楽部・茶道部・華道部・体育部など）				学校関係者の意見
	③-2	生徒会や体育部による学校周辺の清掃活動の実施。 ・1・2年生全員による清掃ボランティア活動を年1回以上実施。 （河川敷の清掃も行う）				

6 体育・健康教育の推進

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度に残された課題
	評価指標		評価指標による達成度	評価	総合評価	
①正しい食生活等の健康増進についての指導を行い、心身の調和的発達の促進を図る ②一人ひとりに応じた特別支援教育の推進を図る ③教育相談活動の一層の充実を図る	①-1 保健室の生徒への応急処置や心の悩み等への対応の良好の割合 70%以上 ② 親身になって生徒の悩みや相談に応じてくれる 70%以上			評価 総合評価 (評定)		
	①-2 「保健だより」の発行 10回以上 ①-3 尿検査の提出率 100% ② 職員研修会の実施回数（年2回）					
	活動計画 ①・「保健便り」の発行を年10回以上。 ・保健委員会での生徒の自主的活動の推進。 ・文化祭での展示により、健康増進への啓発を図る。 ・各教科・各課と連携し、食育啓発を図る。 ② 特別支援教育に関する職員研修会を1学期、2学期にそれぞれ1回実施する。 ③-1 各学年会を利用して、気になる生徒についての情報交換を定期的実施し、心身や生活面、学業などについて悩みや問題を抱えている生徒を早期に発見し、支援を行う。 ③-2 カウンセラーや専門機関と連携した教育相談活動の充実。	活動計画の実施状況	(所見)			
					学校関係者の意見	

7 環境教育・安全教育の推進

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度に残された課題
	評価指標	環境教育に関するアンケート	評価指標による達成度	評価	総合評価	
① 環境問題への意識高揚と環境学習の推進を図る ② 校内外の環境美化活動を推進する ③ 防災教育を推進し、災害時の実践力を育成する	①	環境美化活動に積極的に取り組んでいる。 80%以上			(評定)	
	②	清掃活動に熱心に取り組み、美しい環境を保つよう心掛けている。 80%以上				
	③-1	避難訓練に取り組んでいる。 (年2回実施)				
	③-2	AED講習を実施している。 (年2回実施)				
	活動計画		活動計画の実施状況		(所見)	
	①-1	節電・節水の呼びかけ				
	①-2	環境問題に関する記事の掲示				
	②-1	毎日の清掃を徹底				
	②-2	環境委員による校内や学校周辺の清掃活動の実施				
	③-1	防災計画の周知・徹底				
	③-2	防災訓練の実施及び避難経路の確認				
	③-3	職員・生徒へのAEDの講習会をそれぞれ1回実施(保健体育科合同主催)				
	③-4	「防災クラブ」の活動を推進				
						学校関係者の意見 、 。

8 読書活動の推進

具体的目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度に残された課題
	評価指標	読書活動についてのアンケート	評価指標による達成度	評価	総合評価	
①生徒の望ましい読書習慣の形成を図る ②生徒の自主的な読書活動を推進する	①-1 読書活動に学校として積極的に取り組んでいる 70%以上 ①-2 生徒一人あたりの年間図書貸出数 5冊以上 ② 読書会、読書週間の実施回数をそれぞれ年2回以上			評価 総合評価 （評定）		
	活動計画 ①-1 読書会、読書週間を各学期にそれぞれ1回実施する。 ①-2 「ライブラリーニュース」を毎月発行する。 ①-3 学校ホームページに図書館情報を掲載する。 ②-1 図書委員が校内アナウンス等で読書啓発をおこなう。 ②-2 生活記録に「読書」欄を設け、読書への関心・意欲を高める。	活動計画の実施状況		（所見）	学校関係者の意見	

9 国際交流の推進

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度に残された課題
	評価指標	国際交流についてのアンケート	評価指標による達成度	評価	総合評価	
①異文化理解学習を通じて、国際協調の精神の涵養を図る ②国際社会の中で主体的に生きる能力や資質の育成を図る	①②	国際交流・国際理解教育に積極的に取り組んでいる。（生徒・保護者・教員） 85%以上		評価	総合評価 (評定)	
	①	姉妹校交流の活動記録展示回数 2回				
	②-1	国際理解弁論大会等の生徒参加人数 1名				
	②-2	国際理解教育に関する諸行事の参加回数 2回以上				
	活動計画	① 文化祭などでサンジョセフ校との交流記録の展示する。	活動計画の実施状況		(所見)	
		②-1 「国際教育振興弁論大会」への参加を奨励する。				学校関係者の意見
		②-2 ・JICA「高校生国際教育体験プログラム」への参加を奨励する。 ・その他国際交流関係のプログラムを紹介し、参加を奨励する。				

10 開かれた学校づくりの推進

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度に残された課題
	評価指標	開かれた学校のアンケート	評価指標による達成度	評価	総合評価	
①教育活動の積極的な公開を推進する ②ホームページ等を利用しての積極的な情報発信を推進する	①-1	教育活動の公開が学校の理解に役立っている（保護者） 85%以上			(評定)	
	②-1	ホームページが学校の情報を得たり、学校の活動を理解するのに役立っている（利用の保護者対象） 80%以上				
③地域社会，PTA，同窓会との連携を図る	①-2	授業公開を年3回実施 参加者数（合計） 800名以上 中学生体験入学の参加者数 中学生 800名以上 保護者・教員 100名以上				
	②-2	ホームページの更新回数 年90回以上				
	③-1	学校支援協議会の開催回数 年2回				
	③-2	学校説明会の回数 年3回				
	活動計画		活動計画の実施状況		(所見)	
	①-1	・授業公開を実施する。 中学校，大学，学校評議員，保護者等への案内を徹底する。 ・中学生体験入学の実施については体験授業，体験入部の内容や方法等について事前に十分検討する。				
	②-1	ホームページをリニューアルし，内容の速やかな更新に努める。				学校関係者の意見
	③-1	学校支援協議会を6月と3月にそれぞれ1回開催する。				
	③-2	中学生及び保護者対象の説明会を開催する。日程や中学校への案内を工夫する。				

11 教職員の資質向上

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度に残された課題
	評価指標	職員の職場についてのアンケート	評価指標による達成度	評価	総合評価	
①校務運営体制の効率化と充実を図る	①	教員の職務の満足度 90%以上			(評定)	
	②	コンプライアンスに対する自己評価 90%以上				
	②-1	危機管理に対する取り組み 90%以上				
②教職員のコンプライアンス意識の高揚を図る	②-2	情報セキュリティポリシーについての研修会の回数 年2回実施				
	③	校外での指導力向上研修参加人数 10名				
③校内外の研修を通じて指導力の向上を図る	活動計画		活動計画の実施状況	(所見)		
	①-1	校務運営委員会の活性化を図るため、主任を中心とした月例連絡会をもつ。				
	①-2	校内文書情報の共有化を図り効率的な校務事務処理を構築する				
	②	本校の「情報セキュリティポリシー」を確実に実行できるようにする。				
	③-1	職員研修を計画的に年間を通じて配置し、効率的な研修を行う。				
	③-2	予備校等の授業力向上研修に参加する				
						学校関係者の意見